

TINE ON THE MOUNTAIN MINISTRIES BI-ANNUAL REPORT 2019

はじめに：

このレポートは、2019 年の第 1 四半期、第 2 四半期、および第 3 四半期までの Tine on the Mountain Ministry での Tine の進捗状況をカバーしています。この期間中に組織が行った活動の説明を提供します。これらの活動には、弟子と伝道、生計とスキルのトレーニング、教育支援プログラム、子ども支援プログラム、地域奉仕プログラム、健康プログラムが含まれます。

2019 年は移行期です。コミュニティベースのレベルからローカル NGO へのアップグレード。この期間中に組織が行った活動には指数関数的なアップグレードがありました。

わたしたちについて：

Tine on the Mountain Ministry は、脆弱な子どもたちを支援するために設立された非営利団体です。この組織は、5 歳で祖母に見捨てられた Esther Taka の後援の下で 2017 年に発見されました。彼女は後にストリートライフに苦しみ、麻薬中毒と闘い、後に 14 歳で若い母親になりました。厳しい生活のため、彼女は娘を養子縁組のためにあきらめました。エステルは多くの養子縁組とリハビリの家を訪れ、基本的な正式な教育を受ける機会がありませんでした

(彼女の話の多くは、ジェレミア・ブラッグ(エレミヤ氏)による [https://www.amazon.de / FORGOTTEN-AMONG-MULTITUDE-BIOGRAPHICAL-AFRICAN-ebook / dp / B07D238YN9](https://www.amazon.de/FORGOTTEN-AMONG-MULTITUDE-BIOGRAPHICAL-AFRICAN-ebook/dp/B07D238YN9))。

イエス・キリストの啓示における愛と希望と平和によって変容したエスターは、リハビリテーションの家を立ち上げることに触発され、そこから愛と希望をストリートチルドレンに広げ、より良い生活を送るチャンスと希望を与えることができます。

現在、この組織は 45 人の子供の家をサポートしています。路上から来るものも、スラム街から来るものもあれば、弟子のフィールドワーク訪問中に私たちが旅行する場所から来るものもあります。また、5 人の若い母親(10 代の妊娠の犠牲者)もサポートしています。私たちのすべての受益者は、シェルター、食料、教育、健康に関するニーズをサポートするだけでなく、雇用と結び付けています。

組織はまた、自由意志のあるコミュニティのメンバーがケータリングとベーカリー、理髪と美容、テーラーと編み物、コンピューター学習、読み書きを訓練する成人英語学習のスキルを備えた職業スキル訓練部門を運営しています。

私たちの使命：

個人が、神から授けられた愛、希望、平和に支えられた成長と発展に向けて、生き生きと熱意を持って生活する生産的な市民への変化に貢献すること。

ビジョン：

子供、若者、男性、女性が、イエス・キリストの啓示を通して神からの愛、希望、平和によって与えられ、社会的、経済的に自尊心のある、自立した、自立した個人へと発展させるウガンダです。

スタッフから一言：



Ester Taka Namutebi
(Executive Director)

- 子供が自分の人生を変える手助けをすることは常に刺激になり、大きな喜びをもたらします。私はいつも私が経験したのと同じ状況を経験する子供たちを助けたいです。その後、私はそれを通り抜けて良い生活を送っています。
- 他の人をキリストの弟子にし、キリストの愛を発見し、新たに生まれるのを助けることは、私の心でできることです。



Okanga Moses
(Executive Secretary)

- 子供の人生を形作ることに参加することは、私がこれまで参加した中で最も楽しいことです。子どもが生活の中で十分な情報に基づいた決断を下せるようにするのは大きな喜びです。



Kiyimba Joel
(Programs Director)

- 私たちのスローガンが示すように、「すべての子供は偉大な、救いの手になります」、それは恵まれない子供たちの救いの手であり、小さな子供たちが私のところに来るようにと言ったキリストに導かれます。主が私たちの手を使って地域社会のニーズに手を差し伸べ、地域社会のさまざまな人々の生活に私たちを導き、キリストの愛の啓示を通して人々が人生を変えるのを助けたことを大変光榮に思います。
- 夢として始まったことが、私たちのコミュニティの多くの人々に利益をもたらした大きなプロジェクトに生まれ変わったことを嬉しく思います。職業スキルプロジェクトは、私たちがそれを推進するのに苦労したにもかかわらず、多くの人々に利益をもたらしました。

私達のプロジェクトと活動：

弟子と伝道

私たちの核となる価値の一つとして、私たちの主な焦点は、多くの人をキリストに向けることです。今年は祝福されました。弟子と伝道の活動中に 282 人の弟子にバプテスマを施すことができました。これらのうち 48 人は私たちの家から、そして私たちのコミュニティ内から来た子供の家とセンターからバプテスマを受け、22 人は職業訓練棟からの収穫としてバプテスマを受け、102 人はナキウゴ島の弟子アウトリーチ中にバプテスマを受け、89 人は弟子シップアウトリーチ中にバプテスマを受けました ウガンダ北部のビディビディ難民キャンプ。21 人は通リやスラム街の弟子活動からバプテスマを受けました。

センターでは、毎週水曜日と金曜日に弟子訓練が行われます。参加者には、センターからの職業訓練に参加する子どもたちとコミュニティメンバーが含まれます。弟子訓練では、聖書の読み方、互いに祈る方法、伝道と証の共有の仕方を訓練します。これらは毎週正常に開催されています。



コミュニティ・アウトリーチ・プログラム

今年は、カンパラ・スラムの kisenyi-a とマサカ地区の Kijonjo-a の 2 つのコミュニティ・アウトリーチを支援します。これらのアウトリーチ中; キリストの愛を他の人と分かち合う方法として、地域の貧しい人々に衣服、食べ物、その他の基本的なニーズが与えられます。



子供サポート・センター

子どもの保護は私たちの中核的価値の一つであり、すべての子どもがより良い子供時代を経て成長する機会を得ることを認識しています。基本的なニーズ、特にシェルター、教育、食料へのアクセス。これにより、シェルター、教育、給餌、治療を受けた 45 人の子供たちに手を差し伸べることができました。今年、45 人のうち 10 人が通日から回収されました。センターはまた、5 人の若い母親（10 代の妊娠と早めの強制結婚の犠牲者）とその子供をサポートしています。

私たちはパートナーに感謝しています。家賃の支払いで私たちを支えてきた SFBC グループ・ジャパンは、食べ物の大部分を証明しました。これは、子供たちの生存を維持するのに役立ちました。



教育サポート・プログラム

学費と授業料を期日通りに支払えなかったため、一部の子どもたちは家に送られましたが、すべての子どもたちは一年中学校で支えられてきました。私たちは、友人からの助けを通して学校で彼らを支援するのを手伝ってくれたことに主に感謝します。KCCA-Mirembe 小学校や Modern High School のような、常に我慢強く、学費を支払う前でも子供たちを学校に通わせてくれたパートナー校にも感謝しています。

職業訓練プロジェクト

これは 6 月中旬に始まり、コミュニティメンバーに雇用可能な生活スキルを身につけさせ、彼らが家と生存のために生成可能な収入を得るのを助けます。美容とケータリングの 2 つのスキルから始めることを計画していましたが、コミュニティからの要望により、仕立てと編み物、コンピューター学習、成人英語クラスを導入しました。

SFBC グループ-日本は、トレーニングと子供たちのサポートセンターを収容できる大きなスペースのレンタルを支援してくれたことに感謝します。

使用するのに十分なスペースがありませんでしたが、一部のクラスは同じ部屋を共有し、間隔に分割されました。テーラーと編み物のクラスはケータリングとベーカリーのクラスと同じ部屋を共有しており、コンピューター学習と成人の英語のクラスも同じクラスを共有しています。したがって、他のクラスでは、他のクラスの終了後に開始されます。

このプロジェクトには外部からの支援はなく、開始するための資金も受け取りませんでした。すべてのトレーナーは、トレーニング資料がなくてもボランティアでトレーニングを行っています。ケータリングとベーカリーのクラス、成人の英語のクラス、コンピューターのクラスのトレーニングにボランティアとして参加してくれたプログラムディレクターに感謝します。神が彼の努力を祝福し、尽力してくださいますように！

このプロジェクトの受益者は、2019 年 12 月 13 日に卒業予定であり、修了証明書を授与されます。多くの人々がまだこれらのトレーニングに参加するためにやって来ていますが、私たちの収容能力はすでに限界レベルを超えています。したがって、彼らは今年 12 月に始まる次の摂取量に追い込まれました。

髪ゆい教室

クラスには合計 35 人のメンバーがいて、2 人のボランティアトレーナーがいます。オーバーヘッドドライヤー 1 台、ハンドドライヤー 1 台、ハーフミラー 2 台（ハーフハーフ）、椅子 7 脚を備えたこのクラスは、卒業を待っているメンバーとともに成功を収めています。クラスには、朝から夕方まで実行するのに役立つトレーニングが行われる独自の部屋があります。



ケータリングとベーカリー教室

このクラスには 28 人の受益者と 1 人のトレーナーがいます。それは、(ミシンでの縫物教室) 仕立て教室が始まる前の朝に勉強する朝のシフトと、仕立て教室が終了した後に始まる夕方のシフトに分かれています。

クラスは、ベンチ 2 台、テーブル 1 台、ソースパン 2 台、コンロ 1 台、皿 4 枚、ローリングパン 1 台、ナイフ 2 台のみで実行されます。

ベーカリーは当初、オーブンとして機能するように予熱された砂で行われました。主は、一度に一つだけケーキを焼くことができるミニ電気オーブンで私たちを雇った受益者の一人を通して私たちを祝福してくださいました。



テーラー（仕立て）と編み物教室

24 人のメンバーが 1 台のミシンを共有するのを待たなければならないため、このクラスはケータリングクラスの午前中から夕方のケータリングクラスが始まる前の午後まで実行されます。クラスには 4 つの椅子と 1 つの作業テーブルがあります。ミシンは、所有者が分割払いで購入を開始することを提案するまで、2 か月間、月単位で雇われました。今日現在、未払いの残高は 150,000 ウガンダシリングです。クラスには 1 人のトレーナーがいて、彼女は他の場所で雇用されているため、毎週 2 回来ています。



コンピュータ教室

このクラスには 13 人の受益者がいます。クラスでは、最初に 1 台のラップトップを使用して、組織の管理作業にも使用されているラップトップをトレーニングしていました。したがって、組織のスタッフが使用している場合、トレーニングは行われません。トレーニング開始から 2 か月後、受益者の 1 人がラップトップを使用してトレーニングに使用しました。クラスは 2 つのシフトに分かれており、1 つはケータリングクラスが始まる前の早朝に、もう 1 つは夕方のケータリングクラスが終了した後の深夜に行われます。これは、プログラムディレクターが両方のクラスをすべてトレーニングする必要があるためです。クラスにはトレーナーがいて、そのトレーナーも研究を続けるために去りました。その後、クラスはプログラムディレクターによって取り上げられました。

大人の英会話教室

これは、コミュニティメンバーに読み書きの方法を教えるために開始されました。合計 14 人のメンバーがおり、トレーナーはコンピューターとケータリングのクラスで頻繁に使用されるため、週に 3 回開催されます。クラスには、共有される 4 つのテキストがあります。

今後のイベント：



13/12/2019; 職業訓練プロジェクトの受益者の卒業式



14/12/2019; 毎年恒例の子供たちの”お泊り会”。テーマ：-「他の人と学び、一緒に暮らす」では、スラム地域の子供たちを一晩の交わりとパーティーで迎えます。



進行中。Kyangeraの子供の家の完成のための募金。

課題

- ・子供が寝ている部屋の混雑は依然として高く、部屋の収容能力を超えるベッドを共有している人もいます。
- ・子どもたちの学費は依然として問題であり、一部の子どもたちは時間内に料金を支払えなかったために家に送り返されています。
- ・職業技能訓練プロジェクトには、まだ十分な訓練資料と設備がありません。
- ・職業技能訓練プロジェクトには、十分なトレーナーと訓練スペース也没有ありません。

推奨事項と結論

ですから、TINE の働きを支持できる人なら誰でも乗船してください。主が彼らと一緒に助けてくださるなら、私たちと一緒にってください。